

取扱説明書 別冊版

ビジネスプロジェクター

EB-1485FT

更新ファームフェアについて

ファームウェア Ver.1.50の概要	5
メニュー項目に関する変更(Ver.1.50)	5
操作方法に関する変更(Ver.1.50)	5
- ファームウェア Ver.2.00の概要	7
ファームウェア Ver.2.00の概要 メニュー項目に関する変更(Ver.2.00)	 7 7
ファームウェア Ver.2.00の概要 メニュー項目に関する変更(Ver.2.00) 操作方法に関する変更(Ver.2.00)	 7 7 7

ファームウェアの変更詳細について

メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.1.50)
イメージ強調
EDID
HDMI Out強度設定
音声出力およびHDMI音声出力
オートパワーオン11
無線LAN方式
プロジェクターキーワード12
割り込み接続12
節電メニュー12
ファームウェア更新
USBストレージを使ってファームウェアを更新する
コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する 15
すべての描画を削除
操作方法に関する変更の詳細(Ver.1.50)
USB Displayの対応OS
PC Free対応動画形式
2系統のScreen Mirroringソース18
画面共有の機能追加
スクリーンタイプの変更19
Web 制御パスワード
保護されたメニューの全初期化19

メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.2.00)	20
入力ソース並び替え	
メニューカラー/ツールバーの色	
言語	
操作方法に関する変更の詳細(Ver.2.00)	
幾何学歪み補正の組み合わせ	
HDMI Out設定の変更	
スケジュール設定の初期化	
Screen Mirroring投写画面からのマウス操作	
Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力	
画面共有のガイド画面	

よくあるご質問

マルチプロジェクション機能のトラブル	25
タッチユニットの自動調整が失敗する	
映像同士の色味が合わない	
投写位置を調整したい	
マルチプロジェクション機能のその他のトラブル	
画面共有機能のトラブル	33
投写画面を配信する	
画面共有を終了する	
その他のトラブル	
画面分割のトラブル	
USB Displayのトラブル	
ユーザーパターン保存のトラブル	
Screen Mirroringのトラブル	

付録

一般のご注意	
ご注意	
商標について	

更新ファームフェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファーム ウェアで更新された機能の概要を説明します。

- ・「ファームウェア Ver.1.50の概要」 p.5
- ・「ファームウェア Ver.2.00の概要」 p.7

ファームウェア Ver.1.50の概要

ファームウェア Ver.1.50での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更(Ver.1.50)」 p.5
- ・「操作方法に関する変更(Ver.1.50)」 p.5

メニュー項目に関する変更(Ver.1.50)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

映像調整メニュー

 ・[イメージ強調プリセット]を追加し、関連する設定を[イメージ 強調]に集約

信号入出力メニュー

- ・ [EDID] をソースごとに設定できるように変更
- ・ [HDMI Out強度設定] を追加
- ・ [音声出力] および [HDMI音声出力] の [音声入力3] を端子名に 合わせて [音声入力] に名称変更

動作メニュー

 ・ [オートパワーオン]の[USB Display]が、[信号入出力]で[USB Display]を[オン]に設定したときのみ表示されるよう変更

ネットワークメニュー

- ・
 [無線LAN情報]の
 [無線LAN方式]にWi-Fiの世代名称が表示される
 よう変更
- 「プロジェクターキーワード」を [Epson iProjection] から [ネット ワーク投写] に移動
- ・ [Screen Mirroring] に [割り込み接続] を追加

節電メニュー

- [スリープモード時間] を追加
- ・ [A/Vミュートタイマー] を追加

初期・全体設定メニュー

- [ファームウェア更新] を追加
- インタラクティブツールバー
- ・ [全ページ削除] を [すべての描画を削除] に名称変更

▶ 関連項目

- ・「イメージ強調」 p.9
- 「EDID」 p.9
- ・「HDMI Out強度設定」 p.10
- ・「音声出力およびHDMI音声出力」 p.10
- ・「オートパワーオン」 p.11
- ・「無線LAN方式」 p.11
- ・「プロジェクターキーワード」 p.12
- ・「割り込み接続」 p.12
- ・「節電メニュー」 p.12
- ・「ファームウェア更新」 p.13
- ・「すべての描画を削除」 p.16

操作方法に関する変更(Ver.1.50)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・USB Display機能の対応OSにmacOS 10.15.x(64ビット)を追加
- PC Free機能での再生可能ファイルに.mp4/.mov(H.264、H265)を追加
- ・使用可能なScreen Mirroringソースを2系統に拡張(Screen Mirroring1、Screen Mirroring2)

ファームウェア Ver.1.50の概要

- ・ [画面共有] に機能を追加
- ・ [スクリーンタイプ]を変更したときにプロジェクターの再起動を 促す画面を追加
- ・ [Epson Web Control] 画面にアクセスしたときにパスワードの変更 を促す画面を追加
- ・ [全初期化] で [メニュー保護] を有効にした項目を初期化しない よう変更

- ・「USB Displayの対応OS」 p.17
- •「PC Free対応動画形式」 p.17
- ・「2系統のScreen Mirroringソース」 p.18
- ・「画面共有の機能追加」 p.18
- ・「スクリーンタイプの変更」 p.19
- •「Web制御パスワード」 p.19
- ・「保護されたメニューの全初期化」 p.19

ファームウェア Ver.2.00の概要

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更(Ver.2.00)」 p.7
- ・「操作方法に関する変更(Ver.2.00)」 p.7

メニュー項目に関する変更(Ver.2.00)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更がありま す。

表示メニュー

- ・ [入力ソース並び替え] を追加
- ・ [メニューカラー] を追加

管理メニュー

・ [言語] にアイコンを追加

インタラクティブメニュー

- ・ [ツールバーの色] を追加
- ▶ 関連項目
- ・「入力ソース並び替え」 p.20
- ・「メニューカラー/ツールバーの色」 p.20
- ・「言語」 p.20

操作方法に関する変更(Ver.2.00)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

 ・幾何学歪み補正で複数の補正タイプを組み合わせて使用できるよう 変更

- ・ [HDMI Out設定]を変更したときにプロジェクターの再起動を促す 画面を追加
- [管理初期化] または [全初期化] を選択したときに [スケジュー ル] が初期化されるように変更
- Screen Mirroringの投写画面でインタラクティブペンや指を使ったマウス操作ができるように変更
- HDCPで保護されていないScreen Mirroringの映像をHDMI Out端子から
 出力できるように変更
- ・画面共有を受信するプロジェクターのIPアドレスを確認できるように ガイド画面を追加

- ・「幾何学歪み補正の組み合わせ」 p.21
- ・「HDMI Out設定の変更」 p.21
- ・「スケジュール設定の初期化」 p.21
- ・「Screen Mirroring投写画面からのマウス操作」 p.22
- ・「Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力」 p.22
- ・「画面共有のガイド画面」 p.22

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

- ・「メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.1.50)」 p.9
- ・「操作方法に関する変更の詳細(Ver.1.50)」 p.17
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.2.00)」 p.20
- ・「操作方法に関する変更の詳細(Ver.2.00)」 p.21

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「イメージ強調」 p.9
- 「EDID」 p.9
- •「HDMI Out強度設定」 p.10
- ・「音声出力およびHDMI音声出力」 p.10
- ・「オートパワーオン」 p.11
- ・「無線LAN方式」 p.11
- ・「プロジェクターキーワード」 p.12
- ・「割り込み接続」 p.12
- ・「節電メニュー」 p.12
- ・「ファームウェア更新」 p.13
- ・「すべての描画を削除」 p.16

イメージ強調

[イメージ強調プリセット]を追加し、関連する設定が[イメージ強調]に集約されました。

変更前の映像調整メニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
映像調整	ノイズリダクション	
	MPEGノイズリダクショ ン	
	プログレッシブ変換	
	超解像	_
	ディテール強調	

変更後の映像調整メニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
映像調整	イメージ強調	イメージ強調プリセッ ト
		ノイズリダクション
		MPEGノイズリダクショ ン
		プログレッシブ変換
	超解像	
	ディテール強調	

イメージ強調プリセットを使用して、 [イメージ強調] の設定値をプ リセットの値で一括設定します。

EDID

[EDID] をソースごとに設定できます。入力ソースを切り替えること なく、ソースごとに [EDID] を設定できます。

変更前の信号入出力メニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	EDID	—

選択したEDIDは現在の入力ソースに適用されます。

変更後の信号入出力メニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	EDID	HDMI1
		HDMI2
		HDMI3
		HDBaseT

選択したEDIDは現在の入力ソースに関わらず、それぞれの入力ソース に適用されます。

HDMI Out強度設定

[HDMI Out強度設定]が追加されました。HDMI Out端子からの映像が 正しく出力されないときに、設定を変えてみてください。

変更前の信号入出力メニュー(Ver.1.00)

設定項目なし

変更後の信号入出力メニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	HDMI Out強度設定	・強 ・中 ・弱 ・オフ

音声出力およびHDMI音声出力

[音声出力]および [HDMI音声出力]の [音声入力3] が端子名に合わせて [音声入力] に名称変更されました。

変更前の信号入出力メニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	音声出力	・オート ・音声入力1 ・音声入力2 ・音声入力3
	HDMI音声出力	 HDMI1音声出力 HDMI 音声入力1 音声入力2 音声入力3 HDMI2音声出力 HDMI 音声入力1 音声入力1 音声入力2 音声入力1 音声入力1 音声入力2 音声入力2 音声入力3 HDMI3音声出力 HDMI 音声入力1 音声入力3

変更後の信号入出力メニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	音声出力	・オート ・音声入力 ・音声入力1 ・音声入力2
	HDMI音声出力	 HDMI1音声出力 HDMI 音声入力 音声入力1 音声入力2 HDMI2音声出力 HDMI 音声入力1 音声入力1 音声入力1 音声入力1 音声入力1 音声入力1 音声入力1 音声入力1 音声入力2

音声入力端子から音声を入力するときは、[音声入力]を選択しま す。

オートパワーオン

[オートパワーオン]の[USB Display]が、[信号入出力]で[USB Display]を[オン]に設定したときのみ表示されるよう変更されました。

変更前の動作メニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	オートパワーオン	・HDMI ・コンピューター1 ・USB Display ・オフ

変更後の動作メニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	オートパワーオン(USB Displayがオンのとき)	・HDMI ・コンピューター1 ・USB Display ・オフ
	オートパワーオン(USB Displayがオフのとき)	・HDMI ・コンピューター1 ・オフ

無線LAN方式

[無線LAN情報]の[無線LAN方式]にWi-Fiの世代名称が表示されるよう変更されました。

変更前のネットワークメニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	無線LAN情報	—
	シンプルAP	—

変更後のネットワークメニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	無線LAN情報	無線LAN ・無線LAN方式 シンプルAP ・無線LAN方式

無線LAN方式では、Wi-Fi 4やWi-Fi 5などのWi-Fi世代名称が表示されます。

プロジェクターキーワード

[プロジェクターキーワード] が [Epson iProjection] から [ネット ワーク投写] に移動されました。

変更前のネットワークメニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク設定	ネットワーク投写	Epson iProjection ・プロジェクターキー ワード

変更後のネットワークメニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク設定	ネットワーク投写	プロジェクターキー ワード
		Epson iProjection

割り込み接続

[Screen Mirroring] に [割り込み接続] が追加されました。

変更前のネットワークメニュー(Ver.1.00)

設定項目なし

変更後のネットワークメニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク設定	ネットワーク投写	Screen Mirroring
		・割り込み接続

割り込み接続:Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーによる投写 画面の切り替えを許可するかどうかを選択します。Screen Mirroring ソースを2系統使用するときは、[オフ]を選択します。

節電メニュー

[スリープモード時間] および [A/Vミュートタイマー] が追加されました。

変更前の節電メニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
節電	スリープモード	—

変更後の節電メニュー(Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
節電	スリープモード	_
	スリープモード時間	_
	A/Vミュートタイマー	_

設定の詳細は『取扱説明書』の「動作」メニューをご覧ください。

ファームウェア更新

「ファームウェア更新」が追加されました。

変更前の初期・全体設定メニュー(Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期・全体設定	全初期化	_

変更後の初期・全体設定メニュー(Ver.1.50)

トップメニュー サブメニュー ニ		項目または設定値
初期・全体設定	全初期化	—
	ファームウェア更新	—

ファームウェア更新を選択すると、プロジェクターがファームウェア 更新モードになります。USB-AまたはUSB-B端子を使用してファーム ウェアを更新します。

▶ 関連項目

- ・「USBストレージを使ってファームウェアを更新する」 p.13
- 「コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新す る」 p.15

USBストレージを使ってファームウェアを更新する

USBストレージを使って、プロジェクターのファームウェアを更新し ます。



ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってくださ い。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗 したときは、修理費用が有償となることがあります。



エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファー ムウェアファイルをダウンロードします。

夕 ダウンロードしたファームウェアファイルを、USBストレージの ルート(最上位のフォルダー)にコピーします。

メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.1.50)



- ・USBストレージはFAT形式でフォーマットしたものを使用 してください。
- ・USBストレージ内に、ファームウェアファイル以外の ファイルをコピーしないでください。
- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでく ださい。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更 新が開始されません。
- USBストレージにコピーしたファームウェアファイル が、お使いのプロジェクター用のファイルであることを 確認してください。ファームウェアファイルが正しくな いときは、ファームウェアの更新は始まりません。
- A 株のUSB-A1端子にUSBストレージを接続します。

USBストレージは、プロジェクターに直接接続してくださ い。USBハブを介してUSBストレージを接続すると、ファー ムウェアの更新が正常に行われないことがあります。 **4** 【メニュー】ボタンを押して、[初期・全体設定]メニューの [ファームウェア更新]を選択します。

よく使う項目	カラーマッチング		
映像調整	RGBCMY		
信号入出力	マルチプロジェクション初期	化	
設置	メモリー		
表示	メモリー保存		
動作	メモリー呼出		
管理	メモリー名称変更		
ネットワーク	メモリー削除		
マルチプロジェクション	メモリー初期化		
XEU-	節電		
×=	光源モード	ノーマル	
RD 46	スリープモード	オン	^
初期・全体設定	スリープモード時間	10分	
	A/Vミュートタイマー	オン	
	待機モード	通信オン	
	初期・全体設定		
	全初期化		
	ファームウェア更新		



[はい]を選択して、ファームウェア更新を開始します。

- ・ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源 コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。
 ・ファームウェアの更新中は、プロジェクターからUSB
 - ストレージを外さないでください。USBストレージを取り外すと、ファームウェアの更新が正常に行われないことがあります。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が開始されます。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。 [動作] メ

メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.1.50)

ニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されている ときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理]メニューの[情報表示]を選択し、 [バージョン]が正しく更新されているかを確認します。



すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファーム ウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターか ら電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源 コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プ ラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載 の連絡先にご相談ください。

コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新す る

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、プロ ジェクターのファームウェアを更新します。



- ファームウェアを更新するには、お使いのコンピューターの OSが以下のいずれかである必要があります。
 - ・Windows 8.1 (32/64ビット)
 - ・Windows 10 (32/64ビット)
 - ・macOS 10.13.x(64ビット)
 - ・macOS 10.14.x(64ビット)
 - ・macOS 10.15.x(64ビット)

エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファー ムウェアファイルをダウンロードします。



ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでく ださい。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更 新が開始されません。

- ・ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いの プロジェクター用のファイルであることを確認してくだ さい。ファームウェアファイルが正しくないときは、 ファームウェアの更新は始まりません。
- 2 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とプロジェクターの USB-B1端子に接続します。
- 3 【メニュー】ボタンを押して、 [初期・全体設定] メニューの [ファームウェア更新] を選択します。

よく使う項目	カラーマッチング		
映像調整	RGBCMY		
信号入出力	マルチプロジェクション初期化	Ł	
設置	メモリー		
表示	メモリー保存		
動作	メモリー呼出		
管理	メモリー名称変更		
ネットワーク	メモリー削除		
フリチブロジェクション	メモリー初期化		
	節電		
X=U-	光源モード	ノーマル	
節電	スリープモード	オン	^
初期・全体設定	スリープモード時間	10分	
	A/Vミュートタイマー	オン	
	待機モード	通信オン	
	初期・全体設定		
	全初期化		
	ファームウェア更新		

4. [はい]を選択して、ファームウェア更新を開始します。

メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.1.50)



ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コー ドを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェ クターが正常に起動しないことがあります。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯し、ファームウェ ア更新モードになります。コンピューター上で、プロジェクター がリムーバブルディスクとして認識されます。

5 コンピューター上で、リムーバブルディスクのルート(最上位の フォルダー)にファームウェアファイルをコピーします。

- ファームウェア以外のファイルやフォルダーをリムーバ ブルディスクにコピーしないでください。ファイルや フォルダーが失われる可能性があります。
 - ファームウェアファイルがリムーバブルディスクにコ ピーされていない状態でUSBケーブルまたは電源ケーブ ルが抜けたときは、自動的に電源がオフになります。は じめから操作をやり直してください。
- る コンピューター上で、USB デバイスの取り外しを行い、プロジェ クターからUSBケーブルを外します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わ り、ファームウェアの更新が開始されます。更新が正常に終了す ると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。 [動作] メ ニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されている ときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理]メニューの[情報表示]を選択し、 [バージョン]が正しく更新されているかを確認します。 ・すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファーム ウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターか ら電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源 コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プ ラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載 の連絡先にご相談ください。

ファームウェア更新モードのまま20分間操作が行われない
 と、自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直してください。

すべての描画を削除

インタラクティブツールバーの[全ページ削除]を[すべての描画を 削除]に名称変更しました。

[すべての描画を削除]を選択すると、ホワイトボードモード、アノ テーションモードで描画したすべての描画が削除されます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「USB Displayの対応OS」 p.17
- •「PC Free対応動画形式」 p.17
- ・「2系統のScreen Mirroringソース」 p.18
- ・「画面共有の機能追加」 p.18
- ・「スクリーンタイプの変更」 p.19
- ・「Web制御パスワード」 p.19
- ・「保護されたメニューの全初期化」 p.19

USB Displayの対応OS

macOS 10.15.x(64ビット)でUSB Display機能が使用可能になりました。

変更前のUSB Display対応macOS(Ver.1.00)

- ・10.12.x(64ビット)
- ・10.13.x(64ビット)
- ・10.14.x(64ビット)

変更後のUSB Display対応macOS(Ver.1.50)

- ・10.12.x(64ビット)
- ・10.13.x(64ビット)
- ・10.14.x(64ビット)
- ・10.15.x(64ビット)

PC Free対応動画形式

.mp4/.mov(H.264、H265)形式のファイルがPC Free機能で再生可能に なりました。

変更前のPC Free対応動画形式(Ver.1.00)

ファイルタイプ (拡張子)	詳細
.avi (Motion JPEG)	 バージョン: AVI 1.0のみ 音声コーデック: PCM、ADPCM 解像度:最大1280×720 サイズ:最大2 GB 音声サンプリングレート: 11.025 kHz、22.05 kHz、44.1 kHz、16 kHz、24 kHz、32 kHz

変更後のPC Free対応動画形式(Ver.1.50)

ファイルタイプ (拡張子)	詳細
avi (Motion JPEG)	 バージョン: AVI 1.0のみ 解像度:最大1280 × 720 サイズ:最大2 GB 動画コーデック: Motion JPEG フレームレート:最大30 fps 音声コーデック:LPCM、IMA ADPCM 音声サンプリングレート:11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz

操作方法に関する変更の詳細(Ver.1.50)

ファイルタイプ (拡張子)	詳細
.mp4/.mov (H.264 , H265)	 解像度:最大1920×1200 サイズ:最大2 GB 動画コーデック:H.264/MPEG-4 AVC、H.265/MPEG-H HEVC フレームレート:最大30 fps プロファイル: H.264/MPEG-4 AVC: Baseline Profile、Main Profile、 High Profile H.265/MPEG-H HEVC: Main Profile カラーフォーマット:YUV420 ビデオのスライス構造が複数でないこと 音声コーデック:MPEG-2 AAC-LC、MPEG-4 AAC-LC、 LPCM 音声チャンネル:最大2チャンネル 音声サンプリングレート: MPEG-2 AAC-LC: 44.1 kHz、48 kHz MPEG-4 AAC-LC: 44.1 kHz、48 kHz LPCM: 11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

2系統のScreen Mirroringソース

Miracastを搭載したデバイスを2台同時に接続できます。その場合、入 カソースはScreen Mirroring1、Screen Mirroring2として検出されます。

変更前のScreen Mirroringの動作(Ver.1.00)

1台のデバイスのみ接続できます。

変更後のScreen Mirroringの動作(Ver.1.50)

2台のデバイスを同時に接続できます。2台のデバイスを同時に接続す るときは、 [ネットワーク] メニューから、 [割り込み接続] を [オ フ] に設定します。



- 4画面に分割するとき、USB、Screen Mirroring1、Screen Mirroring2は2つまで選択できます。
- PJLinkのコマンドで入力ソースを指定するときは、以下の番号 を使用します。
 - Screen Mirroring1: 57
- Screen Mirroring2: 58

画面共有の機能追加

画面共有機能を使うときの操作が変更されました。ファームウェア バージョンが異なるプロジェクター間でも画面共有はできますが、設 定により画面が共有できないことがあります。ファームウェアバー ジョンが同一のプロジェクター間で画面共有機能を使用することをお 勧めします。

変更前の画面共有の動作(Ver.1.00)

- ・配信するプロジェクターで、[設置]メニューの[スクリーンタイプ]は[16:9]、[16:10]、[4:3]のいずれかに設定します。
- ・受信するプロジェクターで、[スクリーンタイプ]は配信するプロジェクターと同じに設定します。
- ・受信するプロジェクターでは、描画ツールは切り替えられません。

変更後の画面共有の動作(Ver.1.50)

- ・配信、受信どちらのプロジェクターでも任意の[スクリーンタイプ]を選択できます。
- ・受信するプロジェクターで、ツールバーから描画ツールを選択できます。(蛍光ペンは使用できません。)



 ・描画エリアの任意の場所でペン側面のボタンを押して、ミニ ツールボックスを使用することもできます。ミニツールボッ クスでは、ペンや消しゴムの種類を選択できます。

 指を使って操作しているときはミニツールボックスを表示で きません。

スクリーンタイプの変更

[スクリーンタイプ]を変更したとき、他の機能が正しく動作するようにプロジェクターの再起動が必要になることがあります。

変更前のスクリーンタイプの動作(Ver.1.00)

[スクリーンタイプ]を変更しても、再起動は必須ではありません。

変更後スクリーンタイプの動作(Ver.1.50)

[スクリーンタイプ]を変更したとき、プロジェクターを再起動する メッセージが表示されます。画面の指示に従って、プロジェクターを 再起動します。

変更前のEpson Web Controlの動作(Ver.1.00)

[Epson Web Control] をパスワードを変更せずに使用できます。

変更後のEpson Web Controlの動作(Ver.1.50)

[Epson Web Control] 画面で [詳細設定] にアクセスしたときに、パ スワードの変更画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワード を変更してください。

プロジェクターへの不正アクセスを防止するため、パスワードを定期 的に変更することをお勧めします。

保護されたメニューの全初期化

[全初期化]で[メニュー保護]を有効にしたメニュー設定を初期化しないよう変更されます。

変更前の全初期化動作(Ver.1.00)

[全初期化]を実行すると、[メニュー保護]設定に関わらずすべての設定が初期化されます。

変更後の全初期化動作(Ver.1.50)

[ネットワーク]および[インタラクティブ]メニューでは、[メ ニュー保護]が有効なとき、[全初期化]を実行しても設定が初期化 されません。

Web制御パスワード

[Epson Web Control] 画面で [詳細設定] にアクセスしたときに、パ スワードを変更することをお勧めします。

メニュー項目に関する変更の詳細(Ver.2.00)

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「入力ソース並び替え」 p.20
- ・「メニューカラー/ツールバーの色」 p.20
- ・「言語」 p.20

入力ソース並び替え

[入力ソース並び替え]が[表示]メニューに追加されました。

変更前の表示メニュー(Ver.1.00)

設定項目なし

変更後の表示メニュー(Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	入力ソース並び替え	・オン ・オフ

[入力ソース並び替え]をオンにすると、検出した入力ソースがホーム画面の左上に表示されます。入力信号を検出すると、ソースの並び 順が変わります。

メニューカラー/ツールバーの色

[メニューカラー] が [表示] メニューに、 [ツールバーの色] が [インタラクティブ] メニューに追加されました。

変更前の表示メニュー(Ver.1.00)

設定項目なし

変更後の表示/インタラクティブメニュー(Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	メニューカラー	・黒 ・白
インタラクティブ	ツールバーの色	・黒 ・白

[メニューカラー] で、ホーム画面とプロジェクターメニューのカ ラーテーマを設定します。 [ツールバーの色] で、インタラクティブ ツールバーの色を設定します。

言語

[言語] に アイコンが 追加されました。 メニューが他の言語で表示 されているときも、言語メニューを識別できます。 操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「幾何学歪み補正の組み合わせ」 p.21
- ・「HDMI Out設定の変更」 p.21
- ・「スケジュール設定の初期化」 p.21
- ・「Screen Mirroring投写画面からのマウス操作」 p.22
- ・「Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力」 p.22
- ・「画面共有のガイド画面」 p.22

幾何学歪み補正の組み合わせ

幾何学歪み補正で複数の補正タイプを組み合わせて使用できます。複数の補正タイプを併用することで、はじめに大まかな調整をしてか ら、詳細な調整ができます。

- ・ [湾曲補正]で補正した後、 [Quick Corner]、 [ポイント補正]の 順で補正結果を微調整できます。
- ・
 [Quick Corner]で補正した後、
 [ポイント補正]で補正結果を微調
 整できます。

変更前の幾何学歪み補正(Ver.1.00)

幾何学歪み補正で複数の補正タイプを組み合わせることはできません。

変更後の幾何学歪み補正(Ver.2.00)

[湾曲補正]または [ポイント補正]を選択したときは、組み合わせて使用する補正タイプに切り替えられます。

HDMI Out設定の変更

[HDMI Out設定]の[台数]、[順番]を変更したとき、機能が正し く動作するようにプロジェクターの再起動が必要になることがありま す。

変更前のHDMI Out設定の動作(Ver.1.00)

[HDMI Out設定]の[台数]、[順番]を変更しても、再起動は必須 ではありません。

変更後のHDMI Out設定の動作(Ver.2.00)

[HDMI Out設定]の[台数]、[順番]を変更したとき、プロジェク ターを再起動するメッセージが表示されます。画面の指示に従って、 プロジェクターを再起動します。

スケジュール設定の初期化

[管理初期化]または [全初期化]を選択したときに [スケジュール]が初期化できます。

変更前の初期化動作(Ver.1.00)

[スケジュール設定] は初期化できません。

変更後の初期化動作(Ver.2.00)

[管理初期化]または [全初期化]を選択したときに [スケジュー ル]を初期化できます。

Screen Mirroring投写画面からのマウス操作

本機とコンピューターをScreen Mirroringで接続したとき、インタラク ティブペンまたは指を使って、投写画面上でコンピューターを操作で きます。

変更前のインタラクティブの動作(Ver.1.00)

Screen Mirroring投写画面上では、インタラクティブペンまたは指を 使ってコンピューターを操作できません。

変更後のインタラクティブの動作(Ver.2.00)

UIBC(ユーザー入力バックチャネル)をサポートしているWindows 10 コンピューターを使っているとき、Screen Mirroring投写画面上からイ ンタラクティブペンまたは指を使ってコンピューターを操作できま す。

Screen Mirroring接続時にコンピューターを操作するには、キーボードのWindows キーを押したまま [K] キーを押して、 [このデバイスからのマウス、キーボード、タッチ、ペン入力を許可する] にチェックを入れます。

Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力

HDCPで保護されていないScreen Mirroringの映像をHDMI Out端子から出 力できます。

変更前のHDMI Outの動作(Ver.1.00)

Screen Mirroringの映像はHDMI Out端子から出力できません。

変更後のHDMI Outの動作(Ver.2.00)

[キャプチャー] 設定を変更すると、HDMI Out端子の動作を変更できます。

● [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投
 写] > [Screen Mirroring] > [キャプチャー]

[使用可能]に設定すると、Screen Mirroringの映像をHDMI Out端子に 出力できます。HDCPが無効になり、HDCPで保護された映像が投写で きなくなることがあります。HDCPで保護された映像を投写したいとき は、[使用不可]に設定してください。

画面共有のガイド画面

画面共有をするとき、共有するプロジェクターのIPアドレスを指定す る必要があります。IPアドレスをガイド画面で確認できます。

変更前の画面共有の動作(Ver.1.00)

共有画面を受信するプロジェクターのIPアドレスは、リモコンの 【LAN】ボタンを押して表示するネットワーク情報画面で確認できま す。

変更後の画面共有の動作(Ver.2.00)

共有画面を受信するプロジェクターのホーム画面で、[画面共有]を 選択し、[共有画面を受信する]を選択します。ガイド画面に表示さ れるIPアドレスを確認します。



よくあるご質問

お問い合わせのあったトラブルと、その対処方法について説明します。

- ・「マルチプロジェクション機能のトラブル」 p.25
- •「画面共有機能のトラブル」 p.33
- ・「その他のトラブル」 p.36

複数台のプロジェクターを並べてひとつの大きな映像を投写している ときの、トラブルの対処方法を確認します。

▶ 関連項目

- ・「タッチユニットの自動調整が失敗する」 p.25
- ・「映像同士の色味が合わない」 p.29
- 「投写位置を調整したい」 p.29
- ・「マルチプロジェクション機能のその他のトラブル」 p.31

タッチユニットの自動調整が失敗する

タッチユニットのレーザー自動調整がうまくいかないときは、以下の 手順をお試しください。以下の手順は、マルチプロジェクション投写 した画面をエッジブレンディング機能で調整するときの対処法です。 この対処法はファームウェアVer.1.50未満の場合に適用します。 1台目のプロジェクターの【メニュー】ボタンを押して、 [設置] > [タッチユニット] > [タッチユニット設置] を選択します。





画面の指示に従って、タッチユニットの自動調整を実行してくだ さい。自動調整の詳しい手順は、 『設置工事説明書』 をご覧く ださい。



3 2台目のプロジェクターの【メニュー】ボタンを押して、 [マル チプロジェクション]> [エッジブレンディング]を選択しま す。









投写映像がエッジブレンディング調整前の状態に戻ります が、調整値は保持されます。



5 トップメニューに戻り、 [ペン/指タッチ] > [自動ペン位置合 わせ〕を選択します。

よく使う項目	ペン/熊々ッチ		
转度调整	OBA VORAD#		
信号入出力	手動ペン位置合わせ		
10.00	タッチユニット		
	複数台設置		
-	ペンホバリング	オン	
Martine .	PC操作		
WIE	ペン/指タッチ初期化		
ネットワーク	インタラクティブ		
ペン/指タッチ	採用機能を利用する	オン	
インタラクティブ	ツールバー表示	常に表示	
マルチプロジェクション	描題エリア表示		
メモリー	画面クリア確認	オン	
28	ペンボタン動作	消しゴム	
初期・全体設定	時計表示	日付&時刻	^
	日付	YYYY-MM-DD	
	#8£1	HH:MM	
	プリント		

7 トップメニューに戻り、 [設置] > [タッチユニット] > 「タッチユニット設置」を選択します。

[タッチユニット]		戻る
設置パターン		
電源	オン	
タッチユニット設置		
指タッチ位置合わせ		
タッチ補正範囲	広い	

8 画面の指示に従って、タッチユニットの自動調整を実行してくだ さい。自動調整の詳しい手順は、『設置工事説明書』をご覧く ださい。



画面の指示に従って、自動ペン位置合わせを実行してください。 自動ペン位置合わせに失敗したときは、 [ペン/指タッチ] > [手動ペン位置合わせ]を実行してください。



9 トップメニューに戻り、 [マルチプロジェクション] > [エッジブレンディング] を選択します。

よく使う項目	マルチプロジェクション		
映像調整	プロジェクターID	オフ	
信号入出力	HDMI Out設定	オフ	~
設置	幾何学園み補正	ポイント補正	
表示	エッジブレンディング		
動作	表示倍率		
1010	ユニフォーミティー		
2	光源モード	ノーマル	
No. III Awa	カラーマッチング		
A2/11/297	RGBCMY		
インタラクティブ	マルチプロジェクション初	明化	
マルチプロジェクション	メモリー		
メモリー	メモリー保存		
節電	メモリー呼出		
初期・全体設定	メモリー名称変更		
	メモリー削除		
	メモリー初期化		
	BR .		











11 トップメニューに戻り、 [ペン/指タッチ] > [自動ペン位置合 わせ〕を選択します。

よく使う項目	ペン/熊々ヵチ		
转度调整	OBAL/ORODH		-
信号入出力	手動ペン位置合わせ		
10 10	タッチユニット		
	複数台設置		
econ.	ペンホバリング	オン	
NOTE:	PC操作		
18-12	ペン/指タッチ初期化		
ネットワーク	インタラクティブ		
ペン/指タッチ	総正規算を利用する	オン	
インタラクティブ	ツールパー表示	常に表示	
マルチプロジェクション	援調エリア表示		
メモリー	画面クリア確認	オン	
10 R	ペンボタン動作	消しゴム	
初期・全体設定	時計表示	日付&時刻	^
	日付	YYYY-MM-DD	
	P851	HH:MM	
	プリント		

リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、カラーモードを [マルチプロジェクション] に設定します。



- 2 以下の機能を使って、映像同士の色味を合わせます。詳しくは 『取扱説明書』または『設置工事説明書』をご覧ください。
 - 「マルチプロジェクション」>「ユニフォーミティー」
 - 「動作] > 「光源明るさ制御]
 - [マルチプロジェクション] > [カラーマッチング]
 - [マルチプロジェクション] > [黒レベル調整]
 - 「画質] > 「RGBCMY]

投写位置を調整したい

投写映像の周りの黒帯が気になるときは、以下の手順をお試しくださ い。以下の手順は、マルチプロジェクション投写している画面でイン タラクティブ機能を使うときの対処法です。



映像同士の色味が合わない

複数台のプロジェクター間で映像の色味が異なるときは、以下の手順 をお試しください。以下の手順は、マルチプロジェクション投写して いる場合の対処法です。



1 片方のプロジェクターで、リモコンの【メニュー】ボタンを押して、[信号入出力] > [EDID]を選択します。

よく使う項目	信号入出力	
快像調整	82	
信号入出力	入力ソース	コンピューター1
12 M	入力信号フォーマット	
表示	マイク入力レベル	50
ebri:	オーバースキャン	オート
19 19	EDID	3240x1080/60Hz
5	初期値に戻す	
*919-9	A/V出力	投写時
ペン/指タッチ	普声左右反転	オフ
インタラクティブ	音声出力	オート
マルチプロジェクション	HDMI音声出力	
メモリー	モニター出力端子	モニター出力
6 2	USB Display	0
初期・全体設定	HDMIリンク	
	信号入出力初期化	
	10 M	
	田定設制	*7





2 [3240×1080/60Hz] を選択します。

[EDID]		戻る
	3840x2160/30Hz	
	✓ 3240x1080/60Hz	
	1920x1200/60Hz	
	1920x1080/60Hz	
	1920x720/60Hz	
	1920x810/60Hz	
	1600x1200/60Hz	
	1600x900/60Hz	
	1440x900/60Hz	
	1400×1050/60Hz	
	1366x768/60Hz	
	1280x1024/60Hz	
	1280x800/60Hz	
	1280x720/60Hz	
	1024x768/60Hz	



3 トップメニューに戻り、 [マルチプロジェクション] > [エッ ジブレンディング] > 調整するエッジ位置 > [ブレンド範囲] を選択します。



5 もう一方のプロジェクターで、同様の設定を行います。



4. [600] に設定します。



[ブレンド範囲]を[600]に設定できないときは、任意のブレンド範囲を設定してください。任意のブレンド範囲にすると、 投写映像の左右に黒帯が出ることがあります。

マルチプロジェクション機能のその他のトラブル

マルチプロジェクションで映像が投写できないときは、次の対処方法 を確認してください。

・ [スクリーンタイプ] を [16:9] に設定します。他のスクリーンタイ プを選択すると、映像が正しく表示されないことがあります。

- ・マルチプロジェクションで映像を投写していてインタラクティブ機能が使えないときは、USBケーブルの接続を確認します。
- ・USBケーブルを1台目のプロジェクターの [USB-A1] または [USB-A2] 端子に接続します。
- ・2台目のプロジェクターの[ペン/指タッチ]メニューで[USB-B2] を[オフ]に設定しているときは、USBケーブルを[USB-B1]端子 に接続します。
- ・2台目のプロジェクターの [ペン/指タッチ] メニューで [USB-B2]
 をいずれかのHDMI端子に設定しているときは、USBケーブルを
 [USB-B2] 端子に接続します。 [USB-B2] で指定した入力ソース
 で映像を投写しているときのみインタラクティブ機能を使用できます。

画面共有がうまく使用できないときは、次の対処方法をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「投写画面を配信する」 p.33
- ・「画面共有を終了する」 p.34

投写画面を配信する

画面共有の設定をして、プロジェクターから投写している画面を同じ ネットワークに接続している他のプロジェクターに配信できます。

1 本機の電源を入れ、映像を表示します。





[画面共有] を選択します。

3





● テンキーを使用してIPアドレスを入力します。

② 入力が求められたときに、テンキーを使用してプロジェクター キーワードを入力します。プロジェクターキーワードは受信する プロジェクターの投写画面に表示されます。

- ⑧ 接続履歴を表示します。以前に接続したことがあるプロジェク ターに接続するときは、リストからIPアドレスを選択することが できます。
- [接続]を選択します。

5

接続が完了すると、共有状況を示す情報バーが画面の右上に表示 されます。情報バーはドラッグして位置を移動できます。



- 6 手順3から6を繰り返して、その他のプロジェクターと接続しま す。
- - ・ ⑥: 受信するプロジェクターでの描画を許可します。
 - 🔊 : 受信するプロジェクターでの描画を許可しません。
- 入力ソースを選択して、配信したい映像を投写します。

配信先のプロジェクターに画面が表示されます。

画面共有を終了する

画面共有はステータスバーの アイコンを選択して終了できます。 このアイコンを押すと、すべてのプロジェクターへの配信を一度に終 了できます。特定のプロジェクターのみ配信を停止するときは、以下 の操作をします。

【ホーム】ボタンを押します。





2 [画面共有]を選択します。





配信を停止するプロジェクターを選択します。





[切断] を選択します。

選択したプロジェクターとの接続が切断され、画面共有が終了し ます。



En la

手順3と4を繰り返して、その他のプロジェクターと切断します。

[共有終了]を選択すると、ボタンが[確認]に変わります。 再度ボタンを選択し、すべてのプロジェクターと切断します。 想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・「画面分割のトラブル」 p.36
- ・「USB Displayのトラブル」 p.36
- ・「ユーザーパターン保存のトラブル」 p.36
- ・「Screen Mirroringのトラブル」 p.36

画面分割のトラブル

画面分割がうまく動作しないときは、以下の対処方法をご確認ください。

- ・
 [PC操作]が選択できないときは、
 [USB Display]が入力ソースに 含まれていないことを確認します。他の入力ソースを選択してくだ さい。
- [表示倍率] または [エッジブレンディング] を設定しているとき は画面分割が使用できないことがあります。設定をオフにしてくだ さい。

ユーザーパターン保存のトラブル

- ユーザーパターンの保存ができないときは、以下の対処方法をご確認 ください。
- ・HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。保護されていない コンテンツを投写し、再度保存してください。

Screen Mirroringのトラブル

Screen Mirroringで投写できないときは、以下の対処方法をご確認ください。

- ・[キャプチャー]を[使用可能]に設定するとHDCPが無効になり、 HDCPで保護された映像が投写できなくなることがあります。[キャ プチャー]を[使用不可]に設定してください。
- [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投
 写] > [Screen Mirroring] > [キャプチャー]

USB Displayのトラブル

- USB Displayで映像が投写できないときは、次の対処方法を確認してください。
- ・コントロールパッド(ELPHD02)を使用しているときは、プロジェク ターのUSB-B端子に入力した信号が検出できません。コントロール パッドにUSBケーブルを接続します。



次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

・「一般のご注意」 p.38

一般のご注意

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- ・「ご注意」 p.38
- ・「商標について」 p.38
- •「著作権について」 p.38

ご注意

- 1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断り いたします。
- 2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不 審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいま すようお願いいたします。
- 4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負い かねますのでご了承ください。
- 5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わず に取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お 問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと 等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますの でご了承ください。
- 6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品ま たは消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責 任を負いかねますのでご了承ください。
- 7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標 または商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

macOSは、Apple Inc.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合で も、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について:本装置は当社が権利を有するソフト ウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2019 Seiko Epson Corporation

Rev.1.0 2019.09 JA

Rev.2.0 2020.04 JA

Rev.2.1 2020.05 JA

Rev.3.0 2020.06 JA